

令和2年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和2年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和2年7月16日（木）10：30～13：00

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。

今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和2年度第1回自己評価委員会報告

令和2年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和2年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・学修成果の1項目・学生支援5項目・教育環境の2項目・学生募集と受け入れ3項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

資料請求数が例年より多いことについて、良い兆しを上手く活用して行ってほしい。SNS・インスタグラムを今まで以上にもっと効果的になるよう努力して行ってほしい。

（基準1）総括 美容科は職業実践専門課程の認定校として、産学連携の授業内容により実践的な、卒業後即役に立つ技術を習得できるカリキュラム編成となった。ビューティビジネス科もブライダルの専門知識を学ぶ授業を組み入れることにより幅広いビューティビジネス業界で活躍できるカリキュラムとなった。

- ・就職については、美容・ビューティ関連の就職先がハローワークからの専門分野として任されており、100パーセントの就職率、また卒業後の窓口として、就職部がアフターフォローに手厚く相談指導に当たっている。
- ・美容科は職業実践専門課程の認定校として、産学連携の授業内容により実践的な、卒業後即役に立つ技術を習得できるカリキュラム編成となった。ビューティビジネス科もブライダルの専門知識を学ぶ授業を組み入れることにより幅広いビューティビジネス業界で活躍できるカリキュラムとなっている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。

（基準2）総括 ・インスタグラムなどを活用し、学校の情報提供をするなどウェブサイトの充実を図っている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準3) 総括 平成31年度からの美容科2年次選択授業を始めた。

- ・ビューティビジネス科ではアシスタントウェディングプランナー検定の授業を開始。
- ・平成31年度からのNPO法人日本福祉協会による福祉理美容師の資格取得のためのカリキュラムを導入した。
- ・担当教員ごとにシラバスを作成している。定期的に学年会を行いつつ、外部講師と相談しながら調整し指導方法の統一をはかっている。
- ・時代のニーズに合わせ、選択必須の習得科目の変更を行い、カリキュラムを随時変更修正していく。
- ・資格取得のために定められた科目は、省令に沿って確実に位置付けている。感染症感染防止対策のため休校となったが、履修可能な方法で対応していく。
- ・今後の感染の状況により、オンライン授業などに速やかに取り組めるように準備していく。
リモート授業を導入し、県からも承諾を得ている。Zoom・リモート授業の準備を開始している。
- ・キャリア教育の一環として産学連携授業を行うことにより、より誠実に取り組む学生が増えた。
- ・感染防止を行いつつ、可能な限り行っていく。
- ・メンターとしてのスキルを上げていく講習会を行った。今後も定期的に行っていきたい。(4名心配な学生)2名が休学。
- ・授業アンケートや、学生満足度調査など随時行い、教職員全員が共有し、常に軌道修正を行っている。資格に関する授業はすべて担当職員が学生による評価を実施している。学生および教職員のモチベーションを喚起し学生のニーズに応える教育環境の実現のためにも「即戦力として社会に通用する人材の育成」という本校の教育理念を踏まえた評価体制を構築していく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・オンライン授業の導入時期は早いときから実施するのか？
→クラスLINEを活用している。履修時間としても許可を得ている。休校期間中、学生達の心の支えになったのでは。
- ・コロナ対策において、学校の大変さは理解している。第2波に対しても、今後工夫していく必要がある。助成金を上手く活用していくべきでは。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学校として大変だと思うが、コロナと上手く付き合っていかななくてはいけない。工夫次第である。教育内容が落ち着いているのなら、安心である。
- ・校舎改築の兼ね合いもあると思うが、在校生満足を最優先にしていってほしい。
- ・コロナ影響を受け、県外の学校からの編入の間口を広げていくことも考えていった方が良いのでは。

今後の改善方策

- ・コロナで大変な年度だが、学生意欲は例年より高まっていると感じている。大変な状況だが、学生たちは前向きになれているので、在校生満足を第一に今後も対応していく。

(基準4)

- ・令和元年度美容師国家試験94.3%(実技3名不合格・学科2名不合格)
日本エステティック協会認定エステティシャン試験の合格率100%達成を果たしている。
- ・令和元年6月に行ったサービス接客検定の合格率85%。・メイク検定 100% ・ネイル検定 96%
- ・パーソナルカラー検定 79% ・ヘアカラー検定 100%

- ・休校期間に学びの場を止めることがないように、課題が出せたこともあり、学校に登校できなかった分、意欲が高まっていたと思われる。また、スクールカウンセラーとして親子塾と提携したことにより、職員のメンターとしての役割の中で、安心感が得られていると思われる。学校関係者委員のアドバイスにより変更した。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・スクールカウンセラーの効果は？
→良い効果が出ている。話を聞いてもらえる事ですっきり出来ている様子である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・親御さんとのカウンセリングが実施出来るのか？
→親子塾との協力体制の準備は出来ている。

今後の改善方策

- ・姉妹学級の機会を今年度より増やし、学年・クラスの枠を超えて学校全体で学生をフォローできる教育環境づくりに力を入れていく。
- ・難しい家庭環境の学生も増えてきているため、今後も引き続き、スクールカウンセラーとの連携をとり、サポート体制を強化していく。

(基準5) 総括 「あなたが誰かの夢になる」というスローガンのもと、個々の興味や研究を深めていくことで、確立できると考える。

- ・コンテストに関わることにより、忍耐力や研究心が育まれるため、沢山の学生にチャレンジさせていきたい。ボランティアなどに参加することにより、美容の持つ力と優しさを学ぶことができる。
- ・理美容甲子園の中止のため、大きな大会に参加できる機会はないが、フォトコンなど積極的に案内し、参加者を増やしていきたい。ボランティアの啓発は行っているが、積極的に参加できていない。
- ・新型コロナウイルス影響により、1回目就職ガイダンスの中止。2回目就職ガイダンス県内サロン希望者のみ実施。就職時期が例年より遅れているため、就職相談を密に実施している。
- ・離職率が例年に比べ現段階で10名。就職先を決定するにあたり、きちんと考え決めるよう指導していく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・離職率が多いことについて、心配である。サロン側の問題もあるのでは。地元サロンも併願していても良いのでは。
辞めるなど無理じいは出来ない。
→自己肯定の低い学生が多い。就職指導時に、キャリアプランの描けない学生や自己PRの出来ない学生が増えていると感じている。
- ・小学校で夫婦げんかをしないでくださいと保護者に依頼したクラスはまとまっているという話を聞いたことがある。学校として1日1回必ず、学生をほめてあげることが必要なのでは。
- ・キャリアプランについては、1日1日を大切に何が出来る様になったかを考えさせることが大事である。失敗談の方が学生の心に響く時代。具体的アドバイスが必要である。
学生の存在感を認めてあげること。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・新人育成において、サロンは努力していると感じている。自己肯定感が低いのは感じている。家庭環境の問題もあると思うが、ほめていく事が大切。1日1回声をかけてあげてほしい。

今後の改善方策

- ・姉妹学級の実施。教職員の共通認識を軸として、必ず一人ひとりに声をかけていくこと。誉める指導を実施していく。

(基準6) 総括 学校環境をよくすることにより学生が落ち着いた学校生活を送り高度な技術力と社会性が身に付き社会に出ても活躍することができるような教育を目指している。

- ・ガラス窓の多いデザインの校舎で明るい学習環境に適した建物である。
 - ・多目的教室などを利用して、様々なカリキュラムに対応できるようになっている。
 - ・最新のヘッドスパ対応のシャンプーブースも設けられている。
 - ・実務実習、来校実習、アゲインイベントなど中止となっているが、感染の状況により、防止対策を十分に行って、可能な限り実施していく方向で進めていく。
- 校内競技会・各クラスレクリエーション（ワインディング早巻き大会など）実施予定である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・今年度は各大会・イベントが中止となっているので、来年度 6/21 に美容組合と美容商業組合が協力して、大会を開催する予定である。学校と業界全体で盛り上げていきたいので、協力してほしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ナガコレについても今年度実施できなかつたため、来年度 5/3 に開催予定である。従来よりも大きなイベントになる予定である。県立美術館を使用し、芸術とのコラボのショーと、セントラルスクエアでも披露する形を計画している。学校も前向きに協力してほしい。

今後の改善方策

- ・今年度は各イベント・大会が中止になっているため、現状で実施できる校内イベントなどを計画している。学生たちの満足度を上げるため、実施していきたい。来年度の業界のイベント・ナガコレについては、ぜひ参加させていきたい。

(基準7) 総括：昨年より20名減となっている。引き続き他県に流れてしまう学生の食い止めと、美容業界のさらなる魅力を伝えていく必要がある。
在校生の満足度を上げ、卒業生への手厚い対応により、学生募集へとつなげる

- ・学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。
- ・在校生の満足度を上げ、卒業生の活躍や、美容業界の魅力を伝えて、学生募集に繋げていく。
- ・新型コロナウイルスの影響により、進学ガイダンスの中止が続いているためオンラインガイダンスの実施。
- ・進学ガイダンス実施出来ないため、全県内の高校廻りを強化し実施した。
- ・平成31年度美容科2年次における選択実習授業を導入したカリキュラム編成。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学生募集が読めないことが心配である。
ネット系を活用していくべきである。難しい部分もあると思うが、他校の成功例をまねることも大切である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・インスタのフォロワー数を増やす工夫が必要である。現状は、業界や卒業生のフォロワーが多い。

今後の改善方法

- ・在校生個人のフォロワーが多いので、上手く活用していきたい。
- ・高校生フォロワー数を増やすための方策を早川先生と打ち合わせしていく。(7/31)

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) ・全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

(1) 令和2年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和2年度重点目標の実施状況の報告

① 教育活動

- ・引き続き「整理・整頓・挨拶・礼儀」を身につけさせる。
- ・ほめて育てていくことを心がける。
- ・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法を実施。

② 学生支援・学修成果

- ・教職員の統一指導と技術向上を目指す。姉妹学級の強化。(学生との距離感)
- ・学生が楽しみながら学べる環境づくり
- ・z o o m講習会実施予定である。
- ・学生が学校生活を快適に送れる環境づくりを強化していく。(スクールカウンセラーの活用)
- ・職員の技術や知識を高めて、学生支援を充実させ、退学率の低減を図る。

③ 学生募集

- ・ボランティア活動・各種イベント・コンテスト出場等、学生の自発的活動を支援。
- ・在校生の満足度を向上させるために、対策をとっていく。(在校生のロコミの力)
- ・オープンキャンパスの満足度アップを目指す。
- ・今年度オープンキャンパス委員になりたい学生が多い=在校生満足度を向上していく。
- ・SNS・HPの活用(写真の工夫)
- ・教育成果を正確に伝え、学生募集活動を充実させる。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標を軸として、学生たちが幸せに満足度の高い学校生活になるよう、ぶれないよう内容の濃いものにしてほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・自己肯定感が低い学生に対して、セルフブランディング出来る講習会を受けてみたらどうか。
自己PR・プレゼンが出来ない事に対し自分年表を作成し振り返りの時間をつくる。
→職員向けの講習会を実施していく。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

3. 次回予定

令和2年度第2回学校関係者評価委員会 令和3年2月19日(金) 10:30～